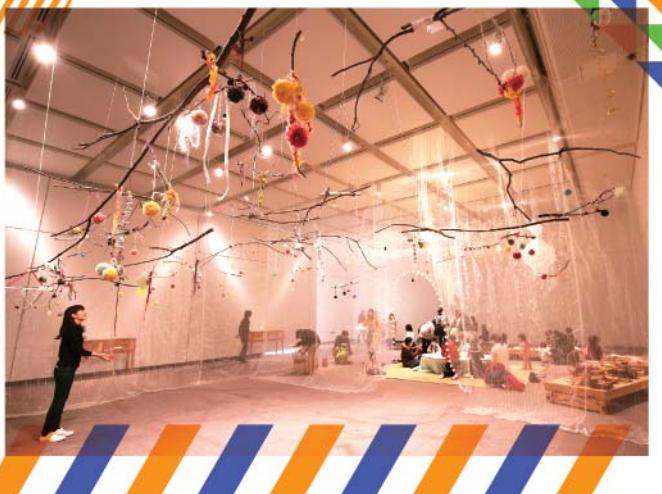




公益財団法人
かすがい
市民文化財団



Kasugai Civic
Cultural Foundation



かすがい市民文化財団 設立の目的

この法人は、春日井市における文化・芸術の振興を図るため、市民のさまざまなニーズに対応した舞台芸術を中心とした鑑賞事業・絵画等の作品展示を通じて、市民が文化・芸術に触れる機会を安定的に確保し、豊かな文化社会の実現に寄与することを目的とする。(「公益財団法人かすがい市民文化財団定款」より)

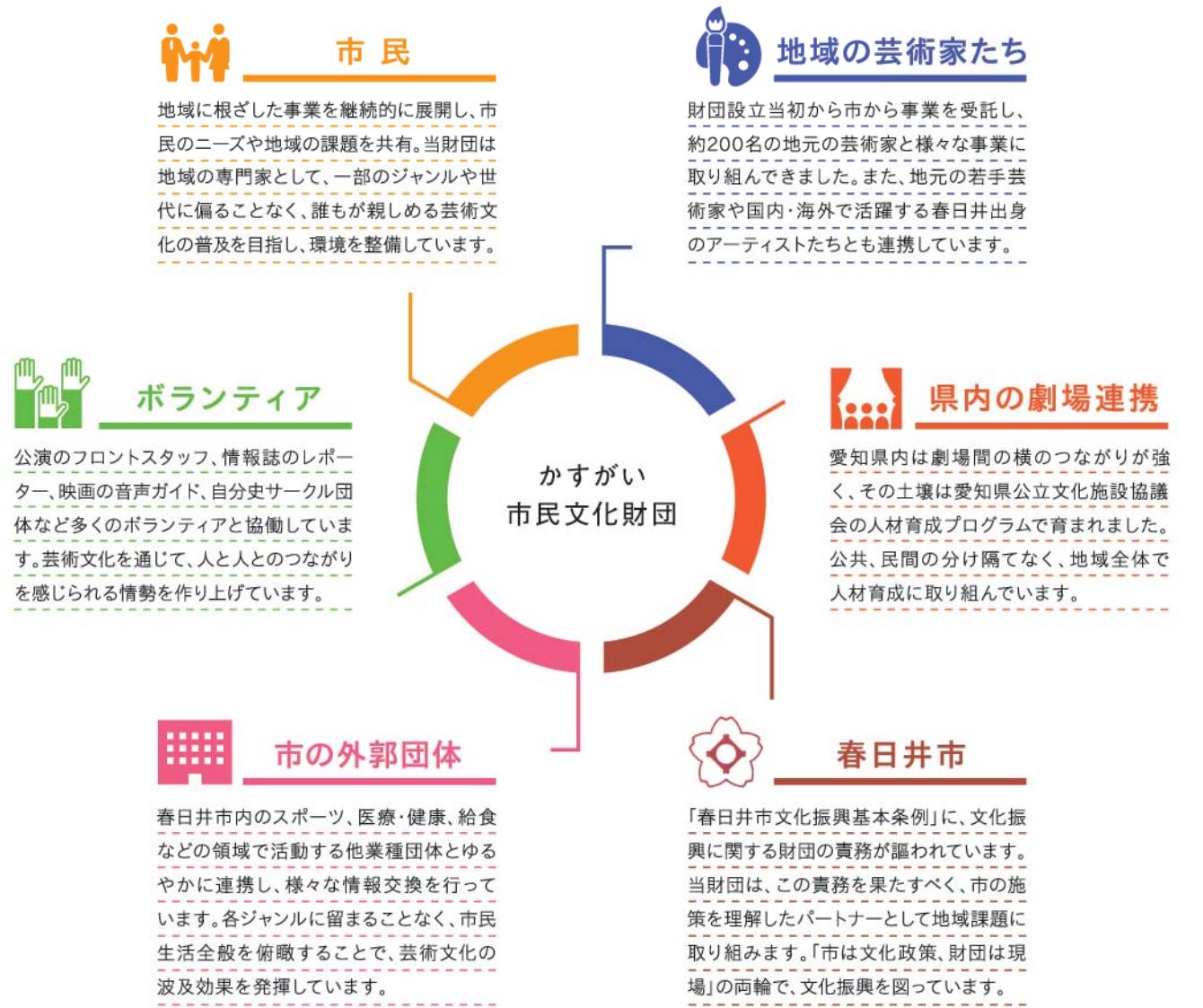
財団の責務

財団は、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動を支援することにより、個性豊かな市民文化の創造及び発展に努めるものとする。(春日井市文化振興基本条例 第6条より／平成14年施行)

財団のミッション

平成24年施行の「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」を契機に、平成26年度に6つの「かすがい市民文化財団ミッション」をボトムアップ型で策定。このミッションに基づいた評価指標を定め、各事業のレベル向上を図っています。

地域との関係性



ライフタウンへ移り変わる 春日井市とともに歩む



名古屋都市圏の住宅都市として成長してきた、人口31万人の春日井市。高蔵寺ニュータウンを有する東部地区は、高齢化により人口が減少していることもあります。市は暮らしやすさを感じるライフタウンへの転換を図り、産官学で様々な施策を進めています。当財団は芸術文化の専門家として、「文化フォーラム春日井」と「春日井市民会館」を中心に、ホスピタリティに溢れる施設管理及び、地域の特性を踏まえた様々な事業を開拓。市のパートナーとして、市と歩調をあわせながら、市内全域に芸術文化を届けています。

子はかすがい 子育ては春日井



春日井市は「春日井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「春日井市で働きたい」「春日井市で産みたい、育てたい」「春日井市に住みたい、住み続けたい」の3つの基本目標を掲げています。平成28年には、「子はかすがい、子育ては春日井」宣言をしました。当財団においても、この宣言に基づき、子育てしやすいまちを芸術文化面で実現するための取組を進めています。

ジャンル横断型 事業に取り組む



文化フォーラム春日井 春日井市民会館

春日井市民会館に隣接する文化フォーラム春日井は、ホール・ギャラリー・自分史センター・図書館が併設された複合文化施設です。市民会館と一体となって、市の中核的な文化施設の役割を担っています。この二つの施設の強みを活かし、当財団では演劇、音楽、美術、文学、映像などの「ジャンル横断型事業」に力をいれています。新しい芸術表現との出会いの場となることを目指して、今後も取り組みます。

全国ツアーで得た経験を 施設運営・市民活動に活かす



当財団が企画・制作している「のだめカンタービレの音楽会」では、職員が全国ツアーに同行し、演出・映像制作・舞台監督を務めています。このツアーでは専門的なスキルをもった職員の知識やノウハウを活かしながら、同時に各劇場の運営を学ぶ機会としています。貸館サービス、ホスピタリティ、技術力、提案力。各劇場で得た経験を、自館の事業企画、施設運営の改善につなげ、地域の芸術文化活動支援に活かしています。

MISSION 1

創造

-つくる-

優れた芸術家と共に、創造性あふれる事業をつくります

優れた芸術家と共に創意工夫を凝らし、地域の特色を踏まえた創造性あふれる事業を実施します。総合文化施設としての強みを活かし、舞台芸術、美術、文学などのジャンルを横断したオリジナル企画や、未知の作品や表現との出会いを創造します。



MISSION 2

鑑賞

-みせる-

市民の心を豊かに育む、質の高い多彩な芸術を鑑賞する機会を提供します

一部のジャンルや世代に偏ることなく、質の高い魅力的な事業を実施し、誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供します。また、年齢や性別、社会的状況等に関わらず、より多くの市民が鑑賞できるよう、様々な工夫や配慮を行います。



クラシック音楽の架け橋として 茂木大輔の生で聴く のだめカンタービレの音楽会

平成18年度から当財団が企画し、全国ツアーを展開している「のだめ音楽会」。原作の名シーンや楽曲解説をスクリーンに投影する映像演出で、ハードルが高いと思われがちなクラシック音楽が幅広い世代に浸透。令和元年度には100回公演を迎えました。



クラシック音楽の新しい聴き方を 生演奏と投影で繰る 大作曲家の傑作シリーズ

オーケストラの背後に、リアルタイムで楽曲解説を投影する「のだめ音楽会」のスピンオフ企画。平成29年度のベートーヴェンの回では、第1~9の交響曲をいいとこどりし、全曲演奏。クラシック音楽の新たな発見ができるコンサートとして支持を集めています。



邦楽の間口を広げる

南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見！

当財団企画の、邦楽ベスト版コンサートとして、平成30年に初開催した「伝統芸能の魅力発見！」。伝統芸能の様々なシーンで活躍する日本の弦楽器が一堂に会した今公演は、和楽器に馴染みの薄い方や若い世代に、伝統芸能の魅力を伝えるものとなりました。



自分史を演劇手法で見つめ直す 演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト

プロの演出家と公募で集まった市民が、演劇創作を通じて自分史の魅力を再発見する「演劇×自分史」。演劇を使って地域を見つめ、さらには「自分史」の普及啓発を目的に、平成29年度から3か年計画で取り組んでいます。10代~70代の市民の交流の場になっています。



観て・学んで・聴いて・食べて 松竹大歌舞伎

30年以上、市民に長く愛されてきた歌舞伎公演。子ども向けの「ミニ講座」や、公演の見どころを事前に解説する「歌舞伎セミナー」、地元のグルメが楽しめる「特製弁当付き解説/スイーツ付き解説」など、地元の商店とも協力しながら関連事業を多く展開しています。



間近で生の舞台芸術に触れる かすがい芸術劇場

今後の活躍が期待されるアーティストを市民に紹介し、間近で生の舞台を体験してもらう公演シリーズ。平成30年度に開催した87回目では、講談師・神田松之丞の独演会を実施。講談界に100年ぶりの新風を起こしたニツ目の舞台は、会場を熱気に包みこみました。



美術作品を身近に体験できる場 展覧会事業

幅広い世代の方が楽しめる、様々なジャンルの展覧会を開催。図書館を有する複合文化施設の強みを生かし、絵本の原画展を始め、文学をテーマにしたインスタレーション、愛知県内の美術館と連携した所蔵作品展、地域の美術作家の作品展などを行っています。



長期間上映されにくい、オススメ映画を かすがい日曜シネマ

芸術文化や海外の文化を扱った、良質なミニシアター系映画を上映する「かすがい日曜シネマ」。職員による映画解説や、ボランティア団体による音声ガイド付きの上映も行っています。多くの方に映画を楽しんでもらうための“工夫を凝らすこと”を大切にしています。



過去のプログラム利用者実績

| | |
|--------|--|
| 平成29年度 | 愛知県美術館サテライト展示 熊谷守一展 大作曲家の大傑作シリーズVol.2ベートーヴェン 松竹大歌舞伎 ダンスとラップ 島地保武×環ROY「ありか」 笑った分だけ、怖くなる vol.2 あなたが決める名曲コンサート 石川綾子ヴァイオリンコンサートツアーワークショップ 絵本作家・あべ弘士展～どうぶつ世界旅行～ 雀々・市馬 東西会 神田松之丞独演会 歌人・鈴掛真 短歌展 そして言葉の導く先に 西本喜美子写真展「みんなで遊ぼ、楽しかよ！」 松竹大歌舞伎 人形劇団むすび座「父と暮せば」 花形狂言2018 真夏の狂言大作戦！ 南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見！ 柳谷小三治独演会 こまつ座「父と暮せば」 演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト いのまたむつみ展 |
| 平成30年度 | 364 H27 432 H28 908 H29 655 H30 |

すこし背伸びして芸術鑑賞を

小中高生を中心とする青少年が、500円で芸術鑑賞できるサポート制度を平成27年度より導入。様々なジャンルの公演や展覧会を厳選し、青少年が芸術文化を身近に感じられる機会を継続的に提供しています。「この公演はどうしても観たい！」と、500円を握りしめて足を運ぶ青少年たちを応援しています。



MISSION 3

普及啓発

-ひろがる-

市民が芸術に関心を持ち、誰もが参加できる環境をつくります

芸術が市民の暮らしの中に浸透する環境づくりに取り組みます。
体験・参加型の事業を充実させ、芸術活動に取り組む意欲を引き出し、
高めるような工夫を行います。また、芸術に触れる機会の少ないものとへ
出向くなど、関係機関と連携・協力し、芸術の裾野を広げます。



いつもの日常に「アート」がやってくる かすがい どこでも アート・ドア

春日井市内の学校や福祉施設に、
音楽家や美術家、俳優、歌人など、
様々なジャンルのアーティストを派遣する「かすがい どこでも アート・ドア」。普段ホールやギャラリーに訪れる機会が少ない方に、
芸術文化を間近に体験できる機会を提供しています。



平成30年度までに228回開催してきた無料コンサート「昼コン&夜コン」と、親子で一緒に生の音楽を楽しめる「はじめての音楽会」。中部地区で活躍するプロの演奏家たちを招き、小さなお子様から年配の方まで幅広い年代へ音楽をお届けしています。



地元アーティストと市民との交流 かすがい文化フェスティバル

夏休み期間中、伝統文化から現代アートまで幅広いワークショップを子どもたちが体験できる「かすがい文化フェスティバル」。講師として招くのは、地元で活躍するアーティストです。体験型ワークショップを通して、地域交流が生まれることを目指しています。



世界の名器を、様々な形で有効利用 スタインウェイピアノ開放します!

春日井市民会館の利用がない平日に、市民会館のスタインウェイピアノを1時間自由に弾ける人気企画。世界を代表するピアノの音色と、1000席規模の広々としたホールを独り占めできる貴重な機会をお客様に提供するとともに、施設の有効活用につなげています。



MISSION 4

地域コミュニティ形成

-つながる-

“人と人、人と社会”的つながりが実感できる、交流の場を創出します

自然に人々が集い、交流が生まれる開かれた場を創出します。市民が社会とのつながりを実感できる機会を提供し、地域コミュニティ形成の一助となります。また、この地域が持つ独自の価値や潜在力を、芸術を触媒として引き出し、ここに暮らす人が「住んでいてよかった」と思えるまちの魅力を見い出します。



芸術文化の理解者たちと協働

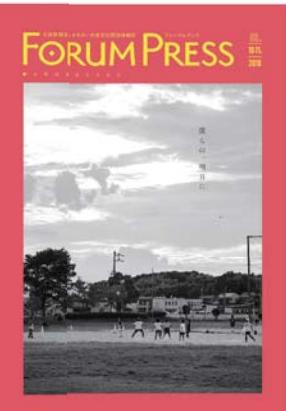
かすがい市民文化財団 フロントスタッフ



地域の情報を積極的に発信する

文化財団情報誌「FORUM PRESS」
かすがい市民文化財団 レポーター

財団発行情報誌「FORUM PRESS」は、公演情報を掲載するだけでなく、地域にまつわるコンテンツを充実させることで、地域とのつながりを大切にしています。「FORUM PRESS」やHPに、公演や展覧会を観た感想をレポートする「レポーター」と共に、市民の声を反映した紙面作りに取り組んでいます。



市内小中高校の校歌や、友の会の提携ショップを紹介するページ

当財団の事業は、「いらっしゃいませ」と、温かい笑顔や丁寧な案内で来場者をもてなす「フロントスタッフ」に支えられています。地元を愛する地域の顔として、芸術文化の良き理解者として、春日井の文化の立役者となっています。



公募自分史「掌編自分史」

毎年異なるテーマで短編の自分史を全国から募集する「掌編自分史」。優秀作品を掲載した作品集を毎年刊行し、書き手・読み手双方の自分史人口の拡大を目指しています。



春日井の自分史



人生と向き合う「自分史」の取組

文化フォーラム春日井2階には、自分史専門の図書館のような「日本自分史センター」があります。自分史の普及・振興のため、自分史作品の収集や自分史作りの相談、サークル活動など、様々な事業を行っています。

自分史講座

現役のライターや自分史相談員が講師の「エッセイ講座」や「文章講座」を定期的に開催。文章表現を学ぶだけでなく、受講生同士の交流の場となり、自分史の輪が広がっています。



MISSION 5

活動支援

-ささえる-

市民に活動や発表の場を提供し、 自主的・自立的な芸術活動を後押しします

職員の実践的な知識や技術を活用して、地域文化をけん引する市民の
自主的な芸術活動をサポートします。事業で培ったノウハウをもとに、
市民の視点に立った柔軟できめ細かいサービスを提供します。



MISSION 6

人材育成

-はぐくむ-

教育機関や文化施設と連携・協力し、次代を担う人材を育てます

芸術家、アートマネジャーなど、将来この地域の芸術を担う人材を育てるため、
大学をはじめとした教育機関や文化施設と連携・協力し、長期的視点に立った
専門的人材の養成や職員の資質向上に務めます。また、芸術の良き理解者である
ボランティアと協働し、豊かな芸術を育む土壌づくりに取り組みます。



市民の音楽活動をバックアップ アトリウム音楽祭

和楽器から洋楽器、合唱にフラダンスなど、様々な音楽団体が日頃の成果を発表する「アトリウム音楽祭」。毎年2回、交流アトリウムで行われ、プロの司会者と財団スタッフが出演団体をサポート。舞台と客席がともに楽しめるように、工夫しながら取り組んでいます。



春日井市内の部活動を支援 舞台制作セミナー

春日井市内の高校の吹奏楽部と演劇部に、照明・音響・舞台技術の基礎知識や、その活用方法を実習形式で伝えるセミナー。定期演奏会や発表会で活用できるテクニックを職員が指導。当日の発表会も職員がサポートしながら、良い公演を共に作りあげています。



職員の知識や技術を
活用し、市民団体の
芸術文化活動を
バックアップしています！



とっておきの
クリスマスコンサート
春日井児童合唱団による
コンサート

人形劇
フェスティバル
市内外のプロアマ人形
劇団が一堂に会す

吹奏楽
フェスティバル
市内7高校が学校の
枠を超えて結集

春日井市民
第九演奏会
市民参加による
毎年恒例の演奏会



MISSION 6

人材育成

-はぐくむ-

地域を活性づける音楽家の育成

若手音楽家支援事業

地域に根差した音楽家を育てるため、春日井を中心に活動する若手音楽家を支援するプログラム。若手音楽家の育成のため「ワンコインコンサート」を開催していた故・根本正治先生(中部大学春日丘高等学校吹奏楽部元顧問)の思いを継承した事業です。



若手芸術家のステップアップ支援

若手芸術家の積極的起用

春日井市出身のピアニスト・内匠慧さん、同じくフルート奏者・林里紗さんといった若手音楽家を、当財団制作の「のだめ音楽会」のソリストとして起用。将来の活躍に向けて、オーケストラとの共演を始めとした、ステップアップの機会を提供しています。



劇場や文化施設に興味を持つ若者への 開かれた場として インターンシップ・職場体験

現役大学生の「インターンシップ」や、地域の小中高生の「職場体験」、文化庁の「国内専門家フェローシップ制度」を受け入れています。公共の場で、芸術文化の仕事に携わる意義を少しでも感じてもらえるよう、職場全体でお迎えしています。



職員の資質向上を目指して

現場が主導するボトムアップ型、それを支える無期雇用

地域に根差した文化事業を継続的に展開していくためには、安定した組織運営が必要です。そのために、平成28年4月から正規職員全員を無期雇用契約に転換。また、現場の職員が主導するボトムアップ型組織として、芸術監督や経営者がいないことを逆に強みとし、職員一人一人のベクトルを揃えるための様々な研修を行っています。



文化施設のつながりを生かして

外部との有機的な連携

国内には2,000以上の公立文化施設が存在。その施設間同士で連携し、事業企画・広報・人材育成に関するセミナーの講師として当財団職員を派遣したり、他施設で研修を受講するなど、人材養成を積極的に行っていきます。特に愛知県内は施設間のつながりが強く、ベテラン職員のノウハウを次世代に伝える仕組みを構築しています。



数字でみる かすがい市民文化財団

自主文化事業費 収支推移

平成17年度より財団の正規職員を初めて採用し、広報や助成金獲得に力を入れるようになりました。市の補助金は主に、誰もが芸術文化に触れられるような普及啓発・人材育成事業に使い、大型公演等では自主財源比率を高める努力を日々行っています。



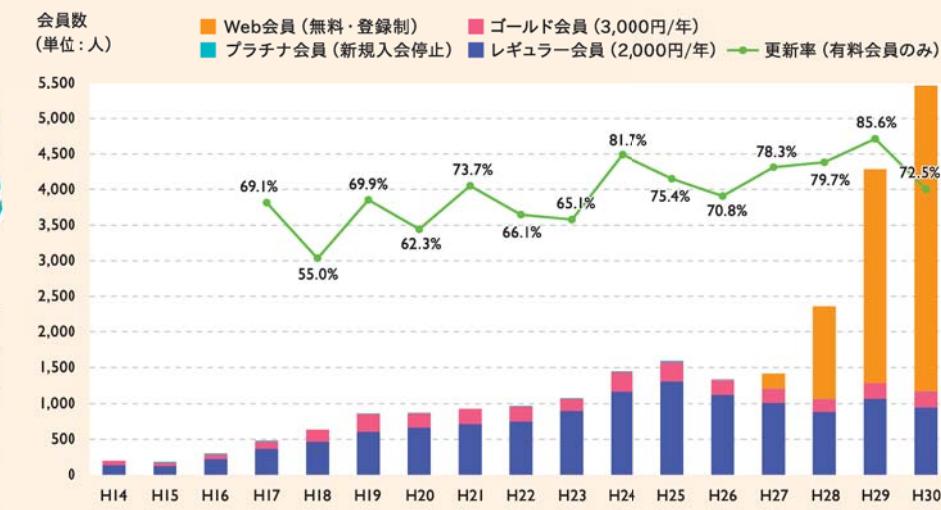
来場者
(単位:人)
《来場者数》 ■文化フォーラム春日井(図書館来場者を除く) ■市民会館
《利用率》 ■ギャラリー ■視聴覚ホール ■交流アトリウム ■市民会館

施設の来場者数 & 利用率推移

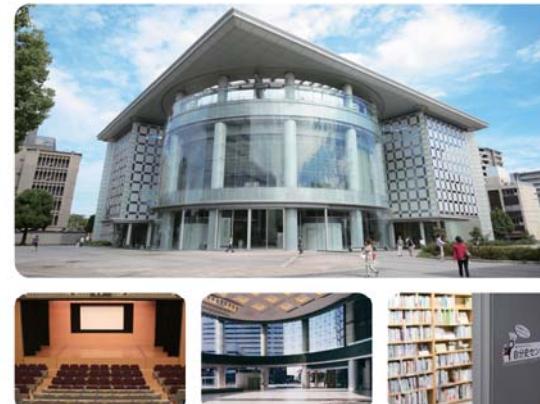
文化フォーラム春日井と、隣接する市民会館との一体利用を進め、来場者数を安定させています。催事で人を集めのではなく、人のいるところで催事を行うよう発想を転換。来場者の滞在時間が長くなるように、キッズコーナーや飲食サービスなどの取組を行っています。

友の会会員数 & 更新率推移

平成14年度から続く友の会は、高い更新率を保ち、リピーターの確保につながっています。平成27年2月から、チケットのインターネット販売に伴い、無料のWeb会員制度を発足しました。



指定管理施設



文化フォーラム春日井



平成11年11月11日開館

構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上4階・地下2階
建築面積 3,784.32m² 延床面積 19,692.22m²
駐車場 168台 総工費 約93億円

新しい芸術文化づくりの拠点となるホールやギャラリー等と、情報と知的交流の拠点となる図書館からなる複合施設です。198席の「視聴覚ホール」、吹抜けの多目的空間「交流アトリウム」、展示を行う「ギャラリー」、約8,000冊の自分史が揃っている「日本自分史センター」などがあります。



春日井市民会館



昭和41年1月12日開館

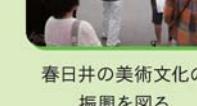
構造 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
建築面積 2,366.329m² 延床面積 3,852.564m²
駐車場 103台(市民会館駐車場) 総工費 約2億2,900万円

開館50年を超える、県内で2番目に建設されたホール。1000席超の市内最大キャパシティの施設で、本格的な音響・照明設備を備えており、日々大規模な舞台公演が開催されています。その他、コンサートや講演会、発表会、式典や会議など、幅広く利用され市民に長く親しまれています。

春日井市主催事業

市民の文化活動の普及・振興を図るため、地元の芸術家と協働しながら、地域に根ざした事業を継続的に展開。地域の文化団体・関係者とのネットワークを構築している当財団が委託を受け、実施することで、事業の効率化を図っています。

市民美術展



春日井の美術文化の振興を図る

短詩型文学祭



市民の文芸作品の発表と鑑賞の場を提供

全国書道展覧会「道風展」

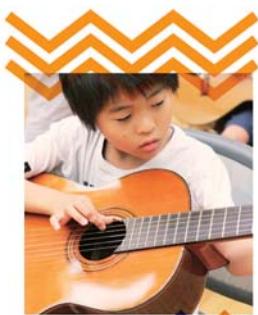
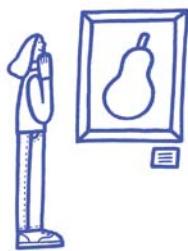


特色ある春日井の書道文化を推進する

春日井市文化施策の沿革

| | |
|-------|------------------|
| 昭和41年 | 春日井市民会館オープン |
| 昭和56年 | 春日井市道風記念館オープン |
| 昭和58年 | 東部市民センターオープン |
| 平成6年 | ハーモニー春日井オープン |
| 平成11年 | 文化フォーラム春日井オープン |
| 平成12年 | 財団法人かすがい市民文化財団設立 |
| 平成13年 | かすがい市民文化振興ビジョン策定 |
| 平成14年 | 春日井市文化振興基本条例制定 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 平成15年 | 春日井市市民メセナ基金設置 |
| 平成17年 | 春日井市民会館・文化フォーラム春日井指定管理者制度導入 |
| 平成20年 | かすがい市民文化振興プラン策定 |
| 平成23年 | 公益財団法人かすがい市民文化財団に移行 |
| 平成24年 | 春日井市民会館と春日井市文芸館が、地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞 |
| 平成30年 | 第2次かすがい市民文化振興プラン策定 |



公益財団法人 かすがい市民文化財団

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
 TEL:0568-85-6868 FAX:0568-82-0213
 MAIL(代表):zaidan1@kasugai-bunka.jp
 HP:www.kasugai-bunka.jp
 月曜休館(祝休日の場合は翌平日)、12/29~1/3



施設紹介アニメーション

